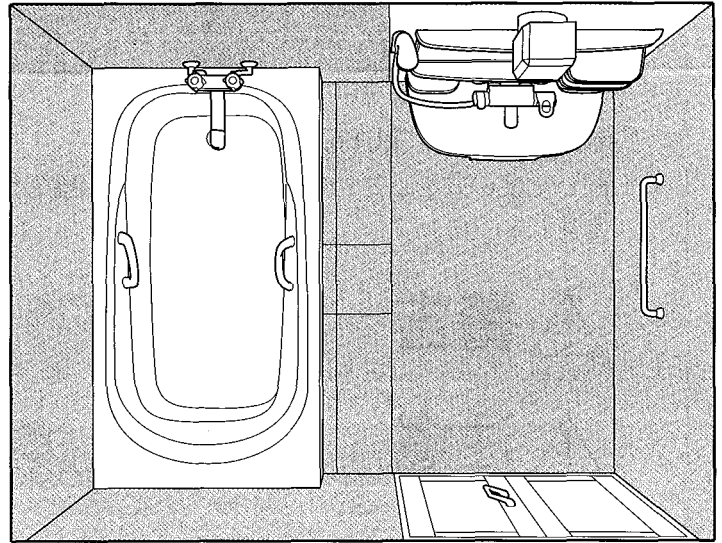
ユニットバスルーム

（バスルームタイプ）

取扱説明書

対象品番

BY- 1720TBSW
1620TAUC,TBSN,TBSC,LBSN
LBSC
1518TBSW
1418TAUK,TAUC,TBSN,TBSC
TBSF,LBSN,LBSC,LBSF
SBPF
1516TBSW
1416TAUK,TAUC,TBSN,TBSC
TBSF,LBSN,LBSC,LBSF
SBPF
1417TBSW
1317TAUK,TAUC,TBSN,TBSC
TBSF,LBSN,LBSC,LBSF
SBPF
1318TBSW
1218TAUK,TAUC,TBSN,TBSC
TBSF,LBSN,LBSC,LBSF
SBPF
1316TBSW
1216TAUK,TAUC,TBSN,TBSC
TBSF,LBSN,LBSC,LBSF
SBPF
BP- 1216TAZE,TBZE,SBZE
1116 TAZE,TBZE,SBZE
BH- 1216TAWE,TBWE,SBWE
1116 TAWE,TBWE,SBWE
1014TBWE,SBWE
BLP-1216TAZE,TBZE
1116 TAZE,TBZE
BLH-1216SBWE
1116SBWE
1014TBWE,SBWE

この度は当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。

このユニットバスルームを美しく、また快適にご愛用いただくために、ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

この取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。

※ 品番シールは浴室ドア上部に貼ってあります。
※ 本取扱説明書と水栓金具、機器類の取扱説明書は、必要なときにすぐ取り出せるところにまとめて保管してください。
※ 転居される場合、次に入居される方に、この取扱説明書をお渡しください。

この取扱説明書では、安全に使用していただくために、次の表示マークや絵表示を使用して注意事項を説明しています。
ご使用する前にこの表示マークや絵表示をご理解いただき、事故のないように正しくご使用ください。

表示マークおよび絵表示の説明

◎表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠警告 ………… この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意 ………… この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

◎絵表示について

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠ ……………… この絵表示は気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。

 ……………… この絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。

 ……………… この絵表示は分解してはいけない「禁止」の内容です。

 ……………… この絵表示は指示した場所に触れてはいけない「禁止」の内容です。

 ……………… この絵表示は必ず実行していただく「強制」の内容です。

目　次

各部の名称

天　井

平天井

天井点検口

風呂フタ（組フタ、オプション）

風呂フタフック（オプション）

照明器具

白熱灯

天井　換気　シャワー　天井点検口

照明器具　鏡　ドア　タオル掛

浴槽側水栓　カウンター

浴槽　洗い場側水栓　目皿

排水栓　排水口　エプロン　グレーチング

浴 槽

※イラストはBY-1418TAUC+RLです。ご使用いただくユニットバスルームは上記イラストと異なる場合があります。

⚠ 注意

点検口は電気配線や配管関係などに異常が起きた場合、開けて点検・修理するためのものです。
ご自身で開けたり、天井裏に物などを置かないでください。

※ **火災・感電や漏水の原因**となります。

ド　ア

開き戸　開き戸　折り戸　折り戸　引き戸

排水栓

ゴム栓

風呂フタ（オプション）

巻フタ

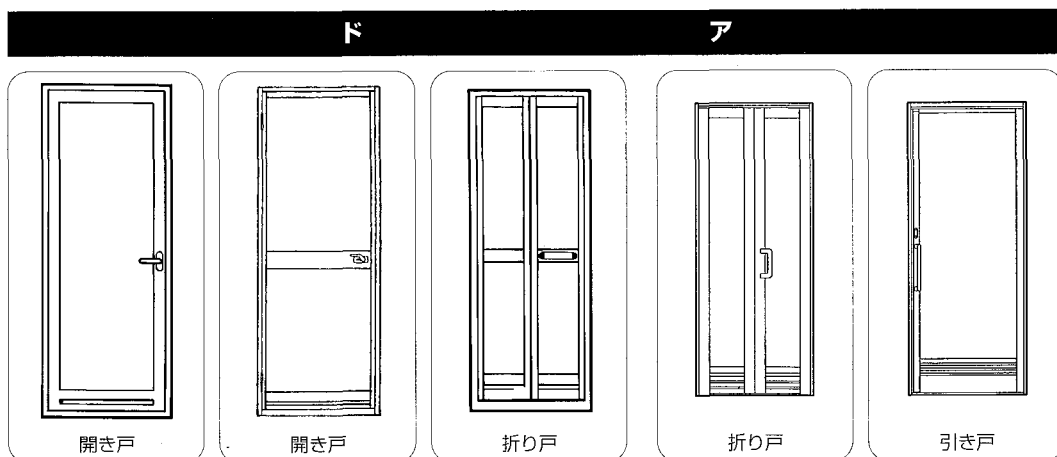
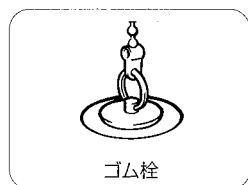
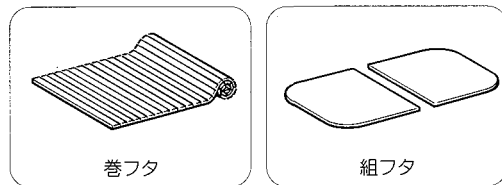
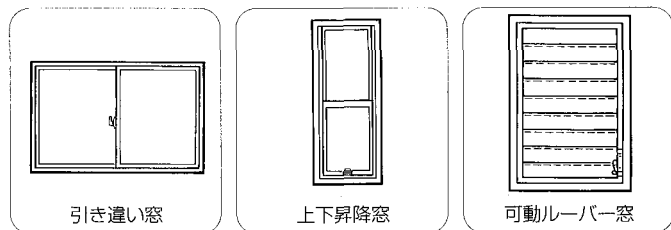
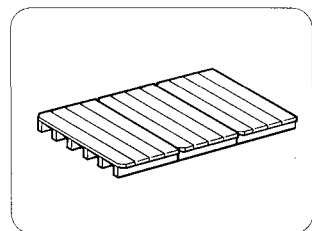
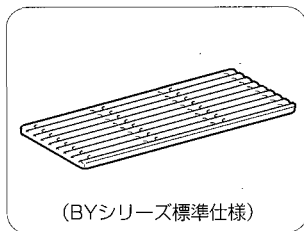
組フタ

窓　（オプション）

引き違い窓　上下昇降窓　可動ルーバー窓

スノコ（オプション）

グレーチング

（BYシリーズ標準仕様）

ランドリーパイプ（オプション）

換　気　扇　（オプション）

天井換気扇

換気乾燥機

換気乾燥機

浴室暖房機

換気乾燥暖房システム

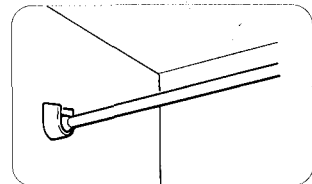
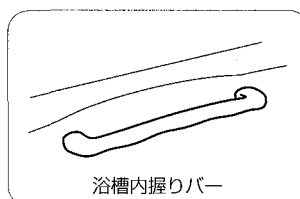
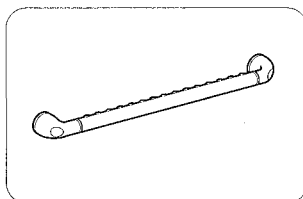
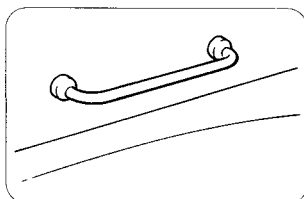
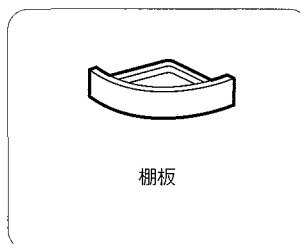
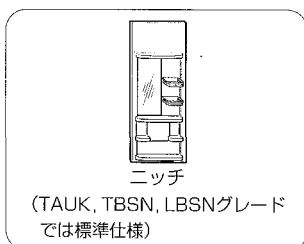
握　り　バ　ー（オプション）

浴槽内握りバー

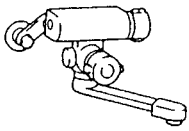
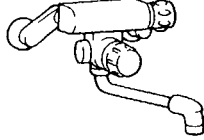
収　納　部　（オプション）

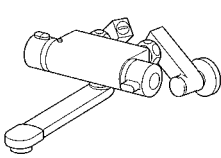
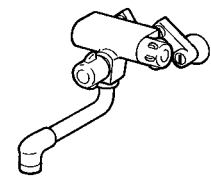
ニッチ
（TAUK, TBSN, LBSNグレードでは標準仕様）

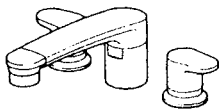
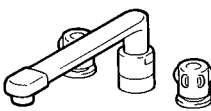
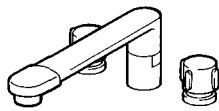
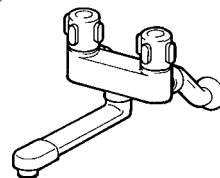
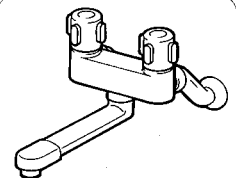
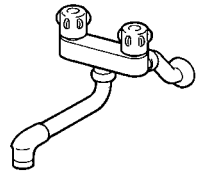
洗面器台
（TAUKグレードでは標準仕様）

棚板

■水栓金具の種類

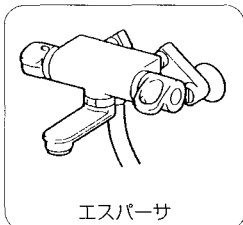
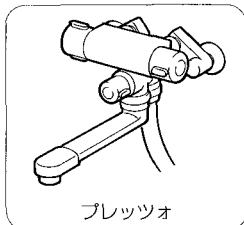
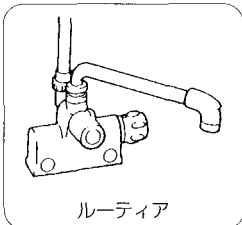
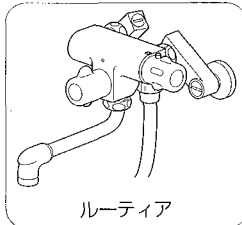
●浴槽側水栓

定量止水付サーモスタット水栓

プレッツォ

ルーティア

サーモスタット付水栓

プレッツォ

ルーティア

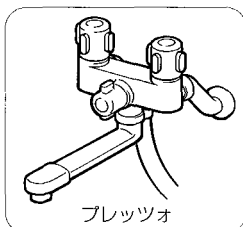
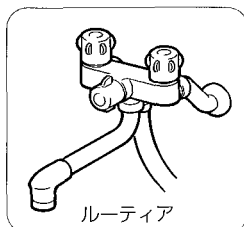
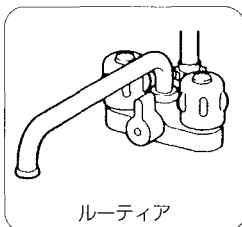
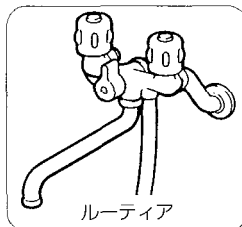
ツーハンドル水栓

エスパーサ

ルーティア

プレッツォ

エスパーサ

プレッツォ

ルーティア

●シャワーバス水栓

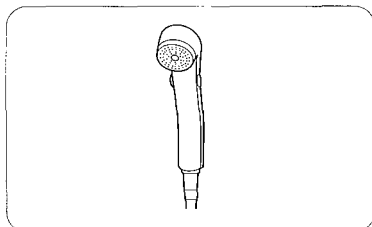
サ ー モ ス タ ッ ト 付 水 栓

エスパーサ

プレッツォ

ルーティア

ルーティア

ツ ー ハ ン ド ル 水 栓

プレッツォ

ルーティア

ルーティア

ルーティア

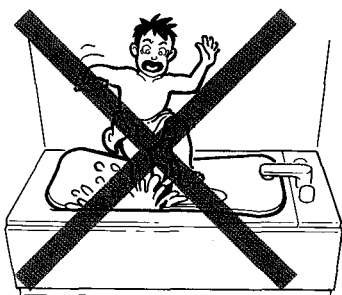
●シャワーヘッド

スイッチシャワー（オプション）

安全上のご注意（必ずお守りください）

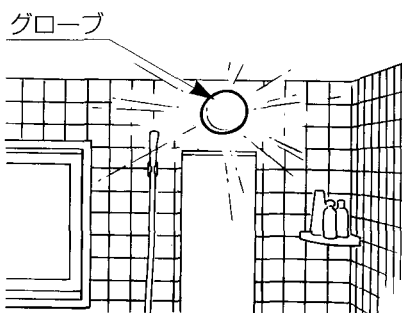
この安全上の注意をよくお読みの上、正しくお使いください

ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付くものです。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
水栓金具、換気扇、アクアジェットなどは商品に添付されている各取扱説明書および本体表示に従ってください。

⚠ 警告

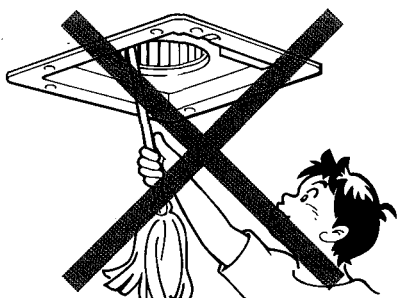
風呂フタを設置する場合は、風呂フタの上に体重をかけたり、乗らないでください。
※フタが外れたりして、**ケガやヤケドをするおそれ**があります。

水栓金具や換気扇などの付帯設備は、それぞれの商品に添付されている取扱説明書、および本体の注意表示に従ってお使いください。
※誤った使い方をすると、**思わぬ事故や故障のおそれ**があります。

換気扇等のお手入れや、電球を交換する場合は必ず電源（スイッチ）を切ってから行ってください。
※**感電やケガをするおそれ**があります。

照明器具や換気扇等の電気製品は、グローブやルーバー等のカバーを外して使用したり、直接水をかけないでください。
※**火災や感電・故障したり、電球が割れてケガをするおそれ**があります。

照明器具にタオルなどを掛けないでください。
※過熱して**火災になるおそれ**があります。

排水栓は、手でしっかりと排水口に押し込んでください。
※自然循環式追いだき機器をご使用の場合、漏水により空だきとなり、**火災のおそれ**があります。

⚠ 注意

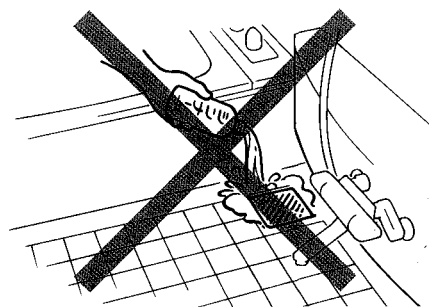
換気扇運転中はルーバーを外してファンやヒーターに触れたり、指や棒を入れないでください。
※**感電やケガ・故障のおそれ**があります。

点検口は設備点検時以外は開けたり、中に物などを置かないでください。
※**火災・感電や漏水**、またフタが外れ、落下して**ケガをするおそれ**があります。

浴室内は石けん液などですべりやすくなっています。ゆっくりとした動作を心がけてください。
※転んで**ケガをするおそれ**があります。

浴槽に飛び降りたりして、無理な力をくわえないでください。
※浴槽が破損して**ケガをしたり、漏水する**おそれがあります。

ご自分で握りバーやタオル掛等を取り付けないでください。
※**タイルが割れたり、水漏れの原因**となります。

風呂フタは必ず浴槽に合ったものをお使いください。
※フタが外れて、**ケガやヤケドをするおそれ**があります。

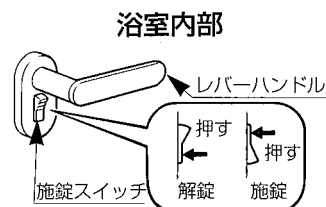
排水口にシンナー等の溶剤や薬品類を流し込まないでください。
※**水漏れの原因**となります。

洗面器台は固定具にしっかり固定してご使用ください。
洗面器台の上に足をかけたり乗らないでください。
※洗面器台が外れて、**ケガをするおそれ**があります。

ご使用方法

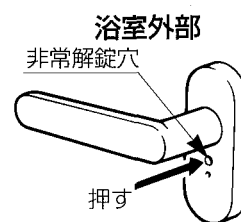
■ドアについて

開き戸の施錠・解錠

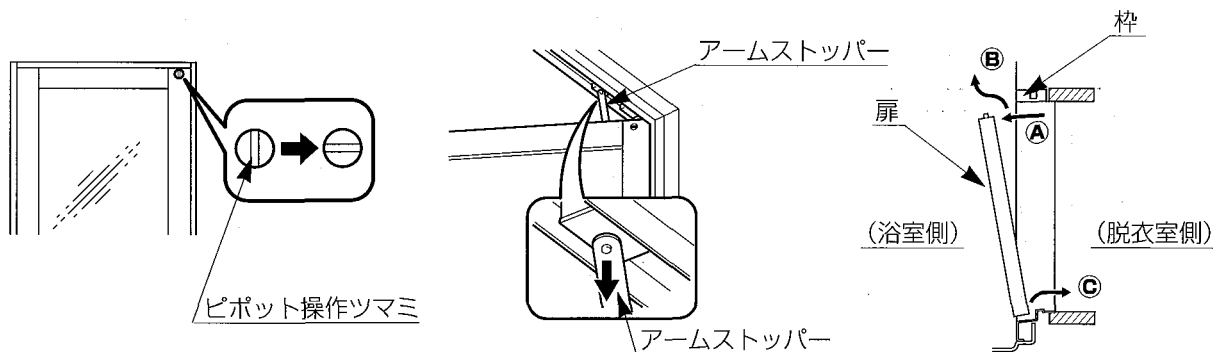
●浴室内側からの施錠・解錠

施錠は施錠スイッチの上側を押し、解錠は下側を押します。

※浴室から出る際にドアを閉めるときは、施錠スイッチを解錠状態にしてください。
施錠の状態にしたままドアを閉めますと、入室できなくなります。
その場合は、下の「浴室外側からの解錠（非常時）」をご覧ください。

●浴室外側からの解錠（非常時）

非常時に浴室外から解錠するときは、非常解錠穴をヘアピン等で突きます。
施錠スイッチが解錠となり、ドアを開けることができます。

開き戸の取り外し方

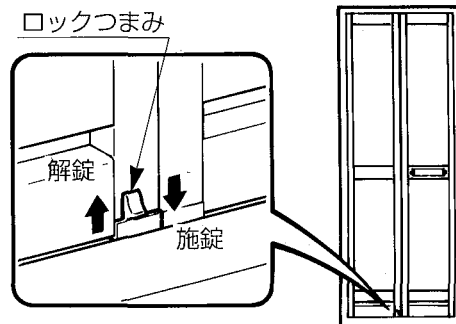
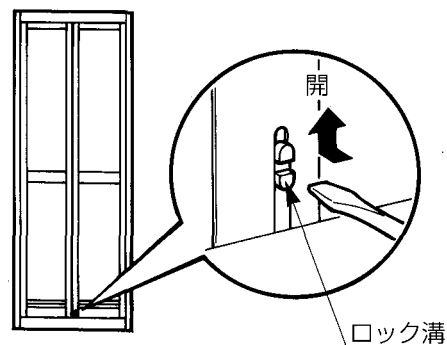
浴室内で人が倒れる等によりドアが開かなくなった場合には、以下の要領で救助作業を行ってください。

①扉上部のツマミを溝が横向きになるよう、マイナスドライバーで回します。
②レバーハンドルを操作し、ドアを浴室側に開きます。
③扉上部のアームストッパーを下へ引っぱり、枠から引き抜きます。
④扉上部を浴室側へ倒しながら（図中Ⓐ）上方へ持ち上げます。（図中Ⓑ）
⑤扉を少し斜めにしながら、扉下部から脱衣室側へ扉を取り外します。（図中Ⓒ）

※取付けは「取り外し方」と逆の手順で行います。
※取付後は、ツマミの溝がたてになっていることを確認してください。

折り戸の施錠・解錠

●浴室内側からの施錠・解錠

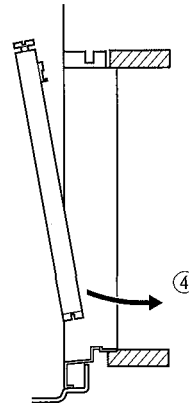
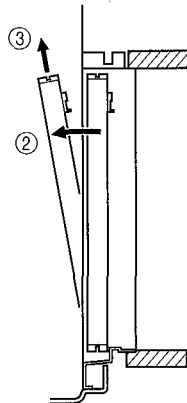
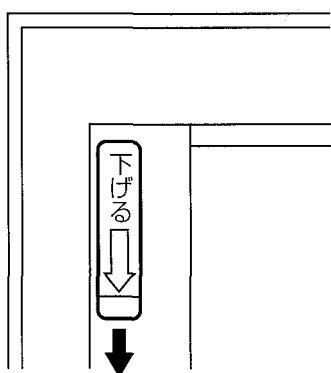
施錠はドア下側にあるロックつまみを降ろします。
解錠はロックつまみを右へ回します。（または上げます。）

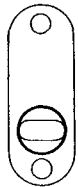
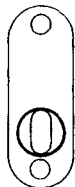
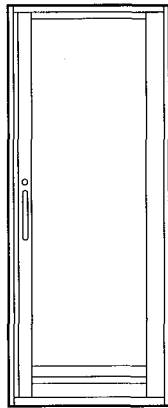
●浴室外側からの解錠（非常時）

非常時に浴室外から解錠するときは、マイナスドライバー等でロック溝を上げます。
施錠スイッチが解錠となり、ドアを開けることができます。

折り戸の取り外し方

浴室内で人が倒れる等によりドアが開かなくなった場合には、以下の要領で救助作業を行ってください。

①扉上部のツマミを下ろします。

②扉上部を浴室側に傾けます。
③扉を上方へ持ち上げます。

④扉を折り曲げたまま、脱衣室側に取り出します。

※取付けは「取り外し方」と逆の手順で行います。
※取付後は、ツマミを元の位置（上側）に戻っていることを確認してください。

片引き戸の施錠・解錠
●浴室内側からの施錠・解錠
浴室内部
施錠
解錠
●浴室外側からの施錠・解錠
浴室外部
施錠
解錠
マイナスドライバーで回す
注意
片引き戸開閉の際には、戸のすき間に指や手をはさまないよう、注意してください。
※ケガをするおそれがあります。

■浴槽側水栓について

水栓の取扱いは、タイプによって異なりますので、ご使用いただく水栓に合わせてご覧ください。
詳しくは各水栓金具の取扱説明書をご覧ください。

サーモスタット付水栓（ルーティア）

開閉ハンドル

お湯を出したり、止めたりします。お湯を出すときは開閉ハンドルを左方に回します。

温度調節ハンドル

お湯の温度を調節します。
このハンドルの目盛は温度を示しています。これを目安として希望温度をマーク（赤色）に合わせます。

安全ボタン

40℃で一度ハンドルが止まります。
40℃以上の温度が必要な場合は、このボタンを押しながら回します。

⚠ 注意

- 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
  ※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。
- ハンドル操作の急閉止はおやめください。
  ※配管から水漏れをおこし、**家財などをぬらす原因**となります。

ツーハンドル水栓

⚠ 注意

- 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
  ※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。

- ハンドル操作の急閉止はおやめください。
  ※配管から水漏れをおこし、**家財などをぬらす原因**となります。

ツーハンドル水栓

⚠ 注意

- 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
  ※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。

- ハンドル操作の急閉止はおやめください。
  ※配管から水漏れをおこし、**家財などをぬらす原因**となります。

ツーハンドル水栓

※図はルーティアシリーズです。他のシリーズ形状は若干異なりますが、使用方法は同様です。

湯側ハンドル

お湯を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは赤色です。

水側ハンドル

水を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは青色です。

⚠ 注意

● 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
　※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。

● ハンドル操作の急閉止はおやめください。
　※配管から水漏れをおこし、**家財などをぬらす原因**となります。

■シャワーバス水栓について

水栓の取扱いは、タイプによって異なりますので、ご使用いただく水栓に合わせてご覧ください。
詳しくは各水栓金具の取扱説明書をご覧ください。
水栓は当社商品以外の器具が取り付けられている場合があります。
当社商品以外の器具につきましては、器具に付属の取扱説明書をご一読ください。

サーモスタット付水栓

温度調節ハンドル

お湯の温度を調節します。
このハンドルの目盛は温度を示しています。これを目安として希望温度をマーク（赤色）に合わせます。
※温度目盛の上限は「45」で、約45℃以上のお湯は出ません。

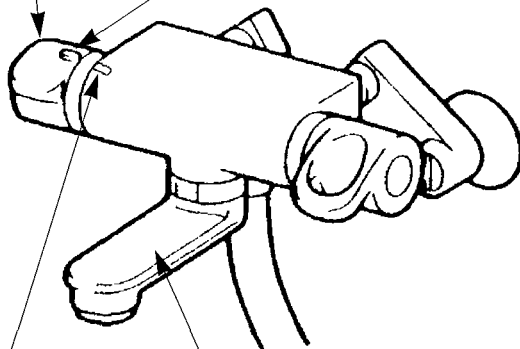
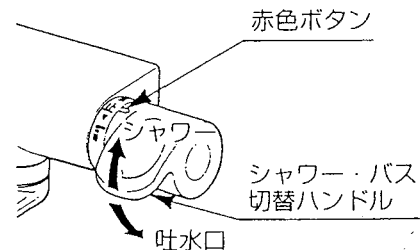
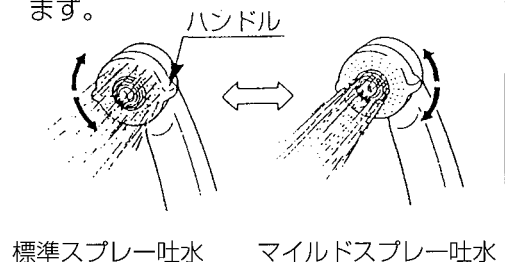
安全ボタン

40℃で一度ハンドルが止まります。
40℃以上の温度が必要な場合は、このボタンを押しながら回します。

自在吐水口

温度表示ボタン

シャワー・バス切替ハンドル

シャワーと吐水口を切り替えます。
シャワー・バス切替ハンドルの赤色ボタンと本体側の表示リングの「止」マークが合っているときが止水位置です。
シャワー使用のときはシャワー・バス切替ハンドルを上に回してください。
吐水口使用のときはシャワー・バス切替ハンドルを下に回してください。

● **シャワー水流の切替え**
ハンドルを回してください。
半回転毎に標準スプレー吐水とマイルドスプレー吐水に切替えできます。
※マイルドスプレー吐水は、標準スプレー吐水に対して約20%の節水となります。

標準スプレー吐水　マイルドスプレー吐水

⚠ 注意

●水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
　※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。

●ハンドル操作の急閉止はおやめください。
　※配管から水漏れをおこし、**家財などをぬらす原因**となります。

サーモスタット付水栓（プレッツォ）

温度調節ハンドル

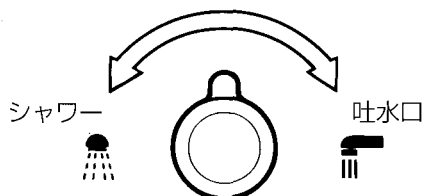
お湯の温度を調節します。
このハンドルの目盛は温度を示しています。これを目安として希望温度をマーク（赤色）に合わせます。

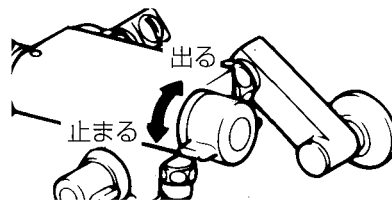
安全ボタン

40℃で一度ハンドルが止まります。
40℃以上の温度が必要な場合は、このボタンを押しながら回します。

マーク（赤色）

吐水口

断熱キャップ

開閉ハンドル

お湯を出したり、止めたりします。
ハンドルのレバーが横になっているときが止水位置です。お湯を出すときはハンドルを上方に回します。

切替ハンドル

シャワーと吐水口を切り替えます。
シャワー使用のときは左へ、吐水口使用のときは右に回します。

⚠ 注意

- 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
  ※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。

- ハンドル操作の急閉止はおやめください。
  ※配管から水漏れをおこし、**家財などをぬらす原因**となります。

サーモスタット付水栓（ルーティア）

切替ハンドル

シャワーと吐水口を切り替えます。

シャワー使用のときは左へ、吐水口使用のときは右に回します。
お湯を止めるときは、ハンドルのレバー部をマーク（赤色）に合わせます。

安全ボタン

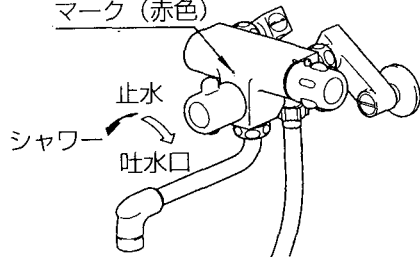
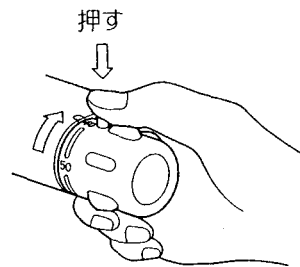
40℃で一度ハンドルが止まります。

40℃以上の温度が必要な場合は、このボタンを押しながら回します。

温度調節ハンドル

お湯の温度を調節します。

このハンドルの目盛は温度を示しています。これを目安として希望温度をマーク（赤色）に合わせます。

⚠ 注意

- 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
  ※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。
- ハンドル操作の急閉止はおやめください。
  ※配管から水漏れをおこし、**家財などをぬらす原因**となります。

●スイッチシャワー

お湯を出したり、止めたりします。

サーモスタット付水栓（開閉ハンドル無）

※図はルーティアシリーズです。他のシリーズ形状は若干異なりますが、使用方法は同様です。

切替ハンドル

シャワーと吐水口を切り替えます。

シャワー使用のときは左へ、吐水口使用のときは右に回します。
お湯を止めるときは、ハンドルのレバー部を真上にします。

安全ボタン

40℃で一度ハンドルが止まります。

40℃以上の温度が必要な場合は、このボタンを押しながら回します。

温度調節ハンドル

お湯の温度を調節します。

このハンドルの目盛は温度を示しています。これを目安として希望温度をマーク（赤色）に合わせます。

⚠ 注意

● 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。

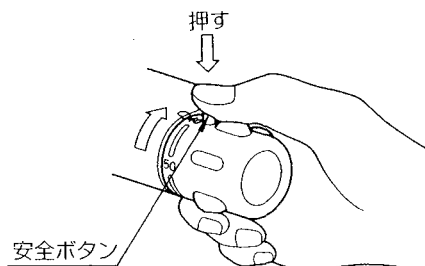
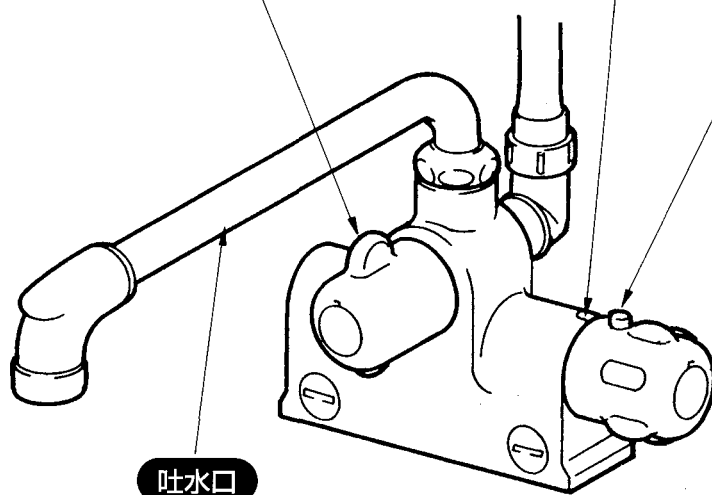
● ハンドル操作の急閉止はおやめください。
※配管から水漏れをおこし、**家財などをぬらす原因**となります。

ツーハンドル水栓

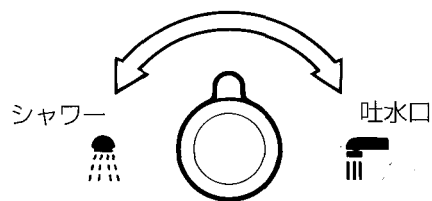
※図はルーティアシリーズです。他のシリーズ形状は若干異なりますが、使用方法は同様です。

湯側ハンドル

お湯を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは赤色です。

水側ハンドル

水を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは青色です。

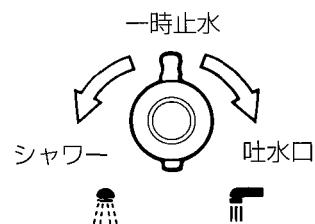
吐水口

切替ハンドル

シャワーと吐水口を切り替えます。
シャワー使用のときは左へ、吐水口使用のときは右に回します。

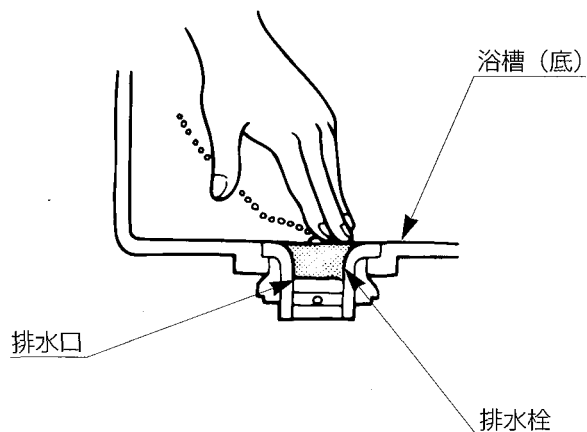
● **一時止水機能付の場合**

切替ハンドルを上方に向けると、ハンドルを閉めた場合と同様にお湯が止まります。

⚠ 注意

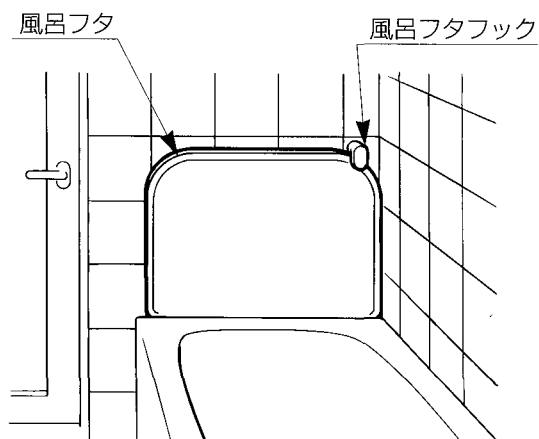
- 水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
  ※高温の湯が出て**ヤケドをするおそれ**があります。
- ハンドル操作の急閉止はおやめください。
  ※配管から水漏れをおこし、**家財などをぬらす原因**となります。

■排水栓について

●ゴム栓の場合

排水栓は手でしっかりと排水口に押し込みます。

■風呂フタについて（オプション）

風呂フタには巻フタと組フタがあります。
組フタの場合は、浴槽背もたれ側の壁に風呂フタフックが付いています。
入浴するときは風呂フタをフックにかけてください。

お願い

風呂フタフックにもたれたり、無理な力をかけないでください。
※**破損の原因**となります。

■グレーチングについて（BYシリーズの場合）……………

グレーチングの取付け・取外し

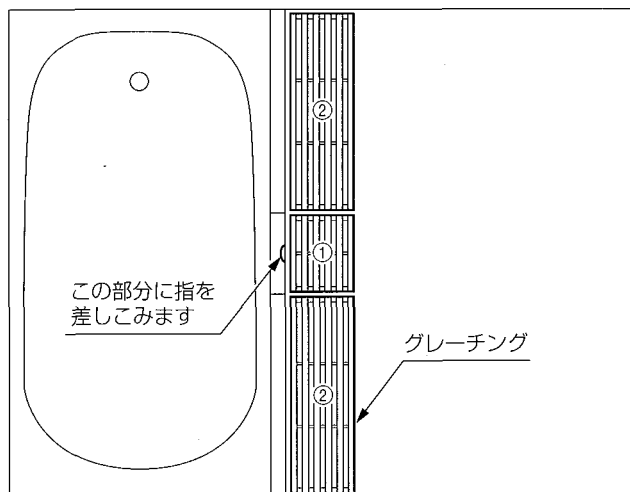
●取外し

グレーチングは3つに分割されています。
右図の①②の順に取り外します。

●取付け

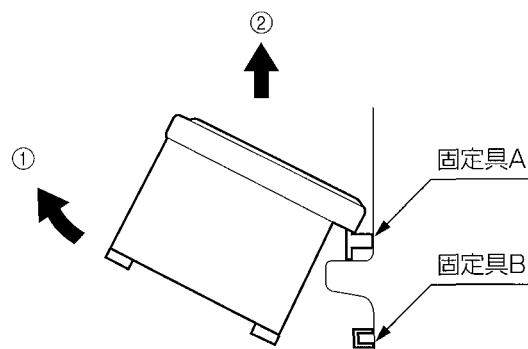
右図の②①の順に取り付けます。

ワンポイント

グレーチングの裏側は髪の毛や湯アカなどの汚れが付きやすいので、こまめに掃除することをお薦めします。

■洗面器台について（BYシリーズの場合）……………………

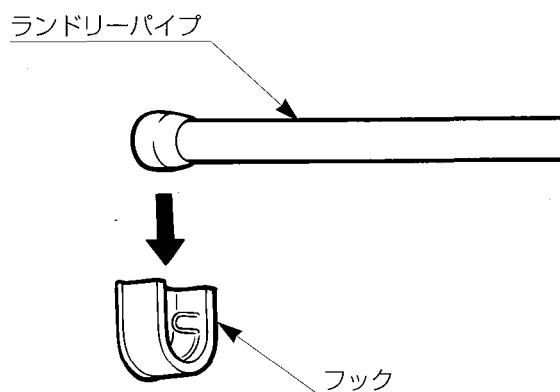
洗面器台の取付け・取外し

●取外し

①洗面器台の下部を手前上方に引きます。
②そのまま洗面器台全体を下図の方向に持ち上げて、固定具から外します。

●取付け

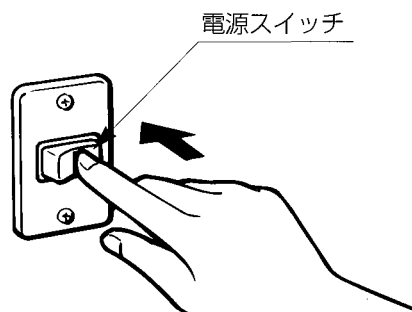
①洗面器台の上部奥を固定具Aに掛けます。
②洗面器台全体を固定具Bに向けて力強く押し込みます。

■ランドリーパイプについて（オプション）……………………

浴室で洗濯物を乾燥させるときに使用します。
浴槽壁の両側にあるフックに確実にはめてご使用ください。

■換気扇について（オプション）…………………………………

浴室外にある電源スイッチを押して換気扇を操作します。

ワンポイント

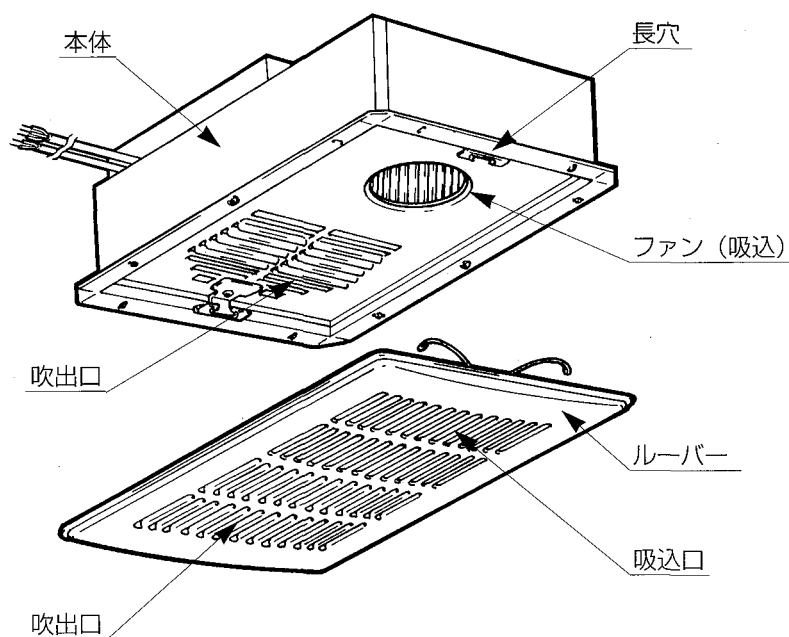
浴室の耐久性を増し、換気扇を長くご使用いただくために、入浴後3時間程度換気扇を運転したり、窓を開けるなどして湿気を十分換気することをお薦めします。

■換気乾燥機について（オプション）

換気乾燥機は浴室を換気する以外に、浴室の暖房や洗濯物を乾燥させることができます。
詳しくは換気乾燥機の取扱説明書をご覧ください。また、当社以外の換気乾燥機が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、ご使用ください。

各部の名称とはたらき（UFD-10D）

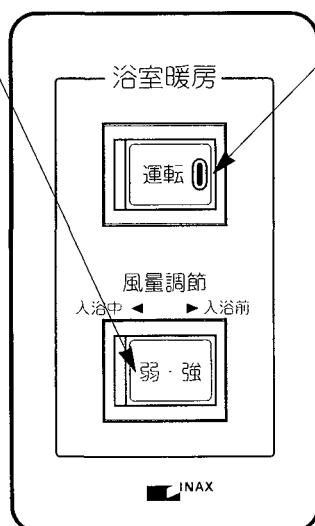
■浴室暖房機について（オプション）

浴室暖房機は温風と輻射により浴室内を暖めます。詳しくは浴室暖房機の取扱説明書をご覧ください。

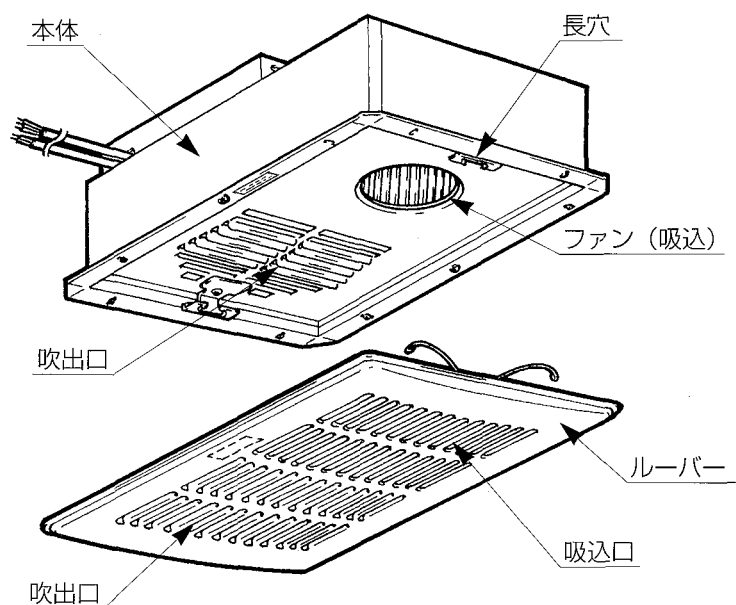
各部の名称とはたらき

風量調節スイッチ

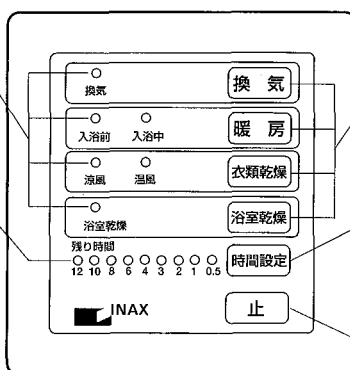
入浴前に右側を押します。
入浴中は左側を押します。

運転スイッチ

運転するとき右側を押します。
停止するとき左側を押します。

■換気乾燥暖房システムについて（オプション）

換気乾燥暖房システムは、別途設置した換気扇を連動させせることにより、浴室を換気する以外に、浴室の洗濯物を乾燥させたり、入浴前暖房、入浴中暖房を行うことができます。
詳しくは換気乾燥暖房システムの取扱説明書をご覧ください。また、当社以外の換気乾燥機が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、ご使用ください。

各部の名称とはたらき

表示ランプ
各運転モードに応じて点灯します。

残り時間ランプ
設定された時間ランプが点灯し、運転開始とともに残り時間が点灯します。

運転ボタン
各運転モードの運転を開始します。

時間設定ボタン
運転時間を設定します。

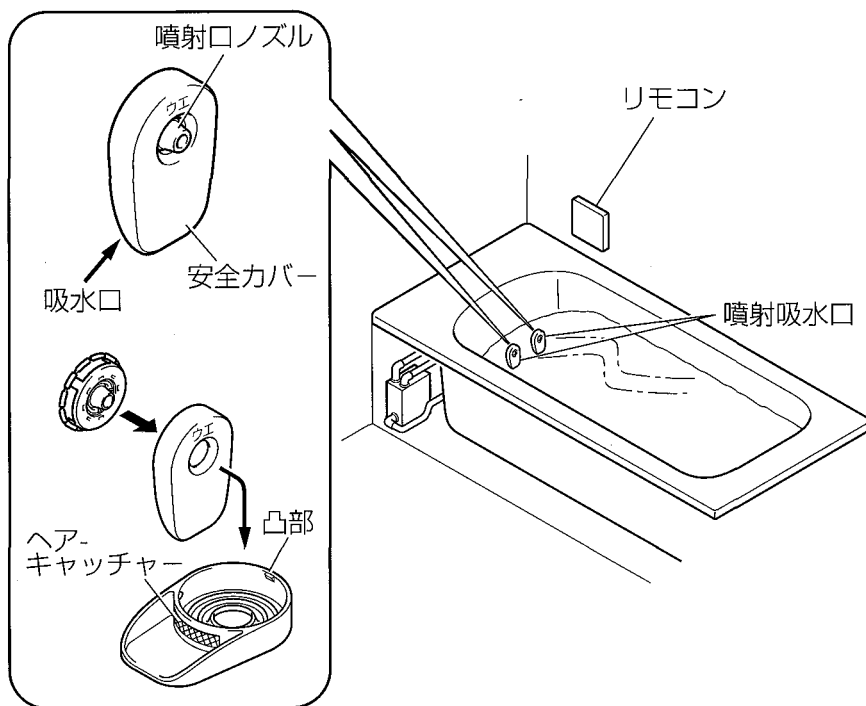
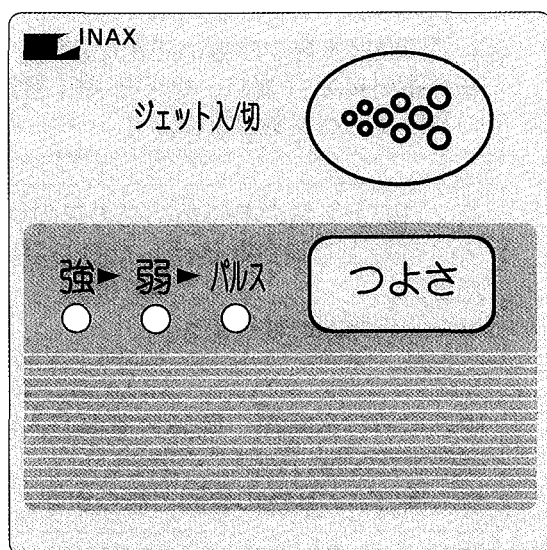
止ボタン
各運転モードの運転を停止します。

⚠ 注意

表示ランプと残り時間ランプが各1個同時に点滅するとき、または残り時間ランプが2個同時に点滅するときは、ただちに当社指定の取扱店へ修理を依頼してください。
※装置内に異常が起こり、事故防止のため、安全装置が働いて自動停止している状態です。

■ポンプ内蔵型アクアジェットについて（オプション）……

詳しくはアクアジェットの取扱説明書をご覧ください。

各部の名称とはたらき

リモコン

（ジェット入/切ボタン）の部分を押すことで、運転を開始します。
再度押すと停止します。

（つよさボタン）の部分を押すことで噴流強さが切り替わります。

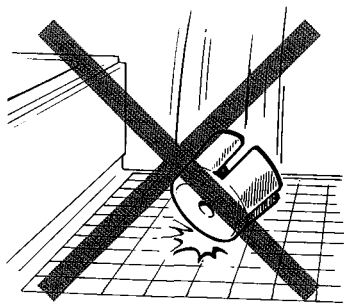
ご使用上の注意

■故障をおこさないためにお守りください

クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは塩酸などの薬品や漂白剤は使用しないでください。
※**キズ、変色等の原因**になります。
また、サンドペーパーやタワシの使用も、光沢を失わせキズをつけるのでお止めください。

水栓吐水口を上下に動かしたり、無理な力を加えないでください。
※**水漏れの原因**となります。

タバコなどの火気を近づけないでください。
※**キズ・ヒビ割れの原因**となります。

重いものや硬いものを落さないでください。
※**キズの原因**となります。

ヘアピン・カミソリの刃等をカウンターに放置しないでください。
※**サビが付着して取れなくなる場合**があります。

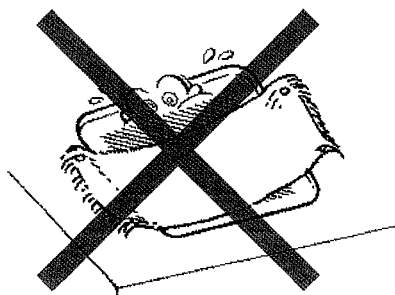
お湯は温度を調節して給湯してください。
※直接熱湯を入れますと**浴槽を傷める原因**となります。

浴槽には浴槽浄化保温機（24時間バス）に該当する機器は使用しないでください。
※継続して使用すると**浴槽表面の荒れ・退色等を著しく促進する場合**があります。

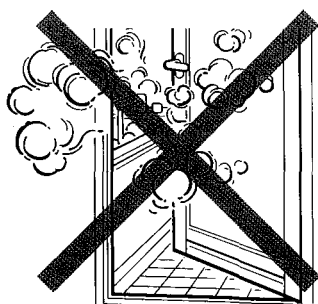
ドアに直接水をかけないでください。
※浴室外に水が漏れ、他の部屋に悪影響を及ぼすことがあります。

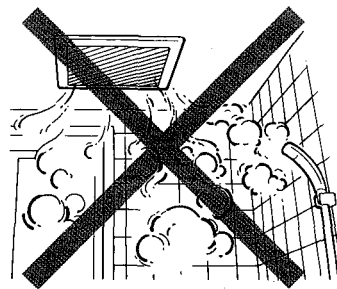
スノコの上に角のある重いものをのせたり、スノコの上で踏台を使用したりしないでください。
※キズの原因となります。

中性以外の入浴剤、硫黄分を含む入浴剤や温泉水を使用しないでください。
※浴槽表面の**変色の原因**となります。

換気扇の吸込口をタオルなどでフタをしないでください。
※**故障の原因**となります。

窓枠の上に植木ばちなどの重いものを置かないでください。
※**破損や漏水の原因**となります。

アクセサリーバーや握りバーに色落ちするタオル等を掛けないでください。
※色移りすることがあります。

貯湯や入浴中、入浴直後は浴室のドアを必ず閉めてください。
※浴室外に蒸気が漏れ、他の部屋に悪影響を及ぼします。

アクアジェット付の浴槽では、浴槽内で入浴剤や温泉水等を使用しないでください。
※浴槽表面の変色や機能部の**故障の原因**となります。

入浴後は窓を開けたり、換気扇を使用するなど、浴室にこもった蒸気を屋外へ排出してください。
※浴室にこもった蒸気は、**悪臭やカビの発生原因**となります。

床・壁・天井・窓枠等の継目部分には、水漏れを防ぐため目地材（または、コーキング材）がうたれています。はぎ取ったり、キズつけないでください。
※**漏水の原因**となります。

KILAMIC抗菌仕様商品についてのご注意

・KILAMIC抗菌仕様商品は表面に菌が付着したときに抗菌効果を発揮し、菌の働きによる汚れの生成を抑制します。ホコリ、油膜等が表面を覆った場合、この上に付着する菌に対しては充分な抗菌効果を発揮できません。
・KILAMIC抗菌仕様商品は菌の繁殖を抑制する効果は持ちますが、菌がまったくなくなるわけではありません。したがって、本商品を感染防止を目的として使用しないでください。

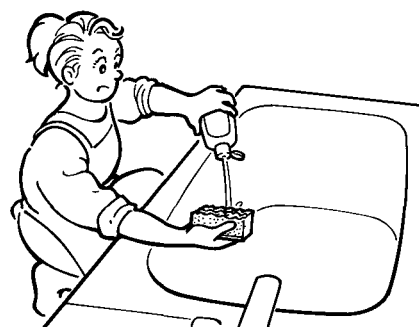
アクアジェット付の浴槽で、凍結のおそれがある場合は、必ずお湯を排水してください。
※**破損や故障の原因**となります。
ただし追いだき付の場合は、追いだき給湯機の取扱説明書に記載された凍結予防方法に従ってください。

お手入れ方法

■日頃のお手入れ

クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは塩酸などの薬品や漂白剤は使用しないでください。
※**キズ、変色等の原因**になります。
また、サンドペーパーやタワシの使用も、光沢を失わせキズをつけるのでお止めください。

浴槽や風呂フタ・床のお手入れ

浴槽用中性洗剤をスポンジか柔らかい布に付けて洗い、その後水でよく洗い流してください。
また、浴槽の底にたまったゴミや鉄粉はよく洗い流してください。
頑固な汚れには市販クリームクレンザーを使用すると、磨けば汚れは落ちますが、クレンザーの多用は浴槽の光沢を失わせます。
日頃からこまめに清掃してください。

ワンポイント

入浴後、排水するときに掃除をすると汚れは簡単に落とすことができます。
時間がたつほど汚れは落ちにくくなります。

天井・壁パネル・ドアのお手入れ

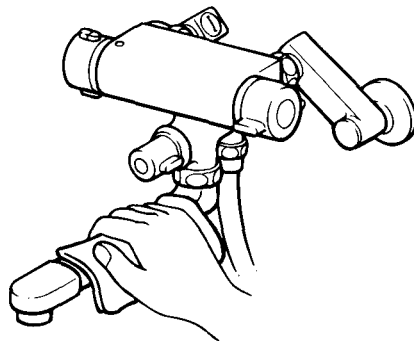
中性洗剤でふき洗いしてください。
洗剤は湿らせた布で、きれいにふきとってください。

水栓金具・タオル掛のお手入れ

水栓金具、タオル掛は週に1回程度、乾いた柔らかい布でふいてください。

※硬いものでたたいたり、ぶつけたりしないでください。
　キズがついたり、メッキがはがれたりします。

※アルカリ性洗剤や酸性物が付かないようにしてください。
　メッキを傷めます。

※水栓金具については各取扱説明書を参照ください。

カウンター・収納棚・ニッチ・洗面器台・点検口・照明カバー・窓枠のお手入れ

食器用中性洗剤をうすめてスポンジなど柔らかいものに含ませてふいてください。ふいた後は湿らせた布できれいに洗剤をふきとってください。

※硬いものでたたいたり、ぶつけたりしないでください。
　キズがつきます。

目地のお手入れ

タイルの目地材は、ゴミやアカがつきやすく、カビが発生することがあるので、少なくとも週1回は布またはスポンジに中性洗剤をつけて、目地部の汚れをふきとってください。

また、目地に著しくカビが発生しているときは、次亜塩素酸系の漂白剤で漂白します。次亜塩素酸系の漂白剤が入手できない場合は、市販のカビ取り剤や洗濯用、あるいはキッチン用漂白剤をお使いください。

ワンポイント

防カビ剤を塗布しますと、カビの発生が少なくお手入れが楽になります。

お願い

漂白剤やカビ取り剤・防カビ剤を使用する場合は、必ずその取扱説明書をよく読んで、正しくお使いください。

握りバーのお手入れ

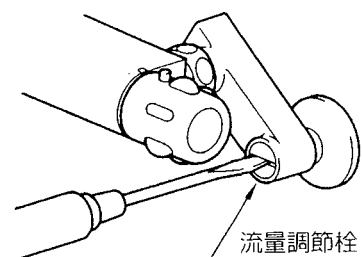
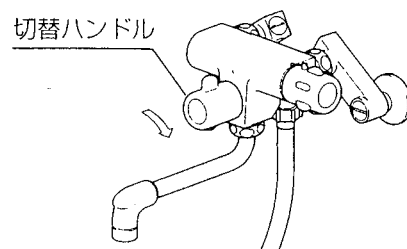
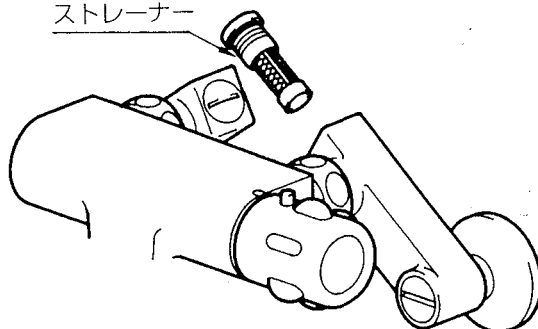
汚れは、乾いた柔かい布でふきとってください。汚れがひどいときは、中性洗剤をしみ込ませた布でふき、そのあと必ず水ぶきしてください。

■ストレーナーのお手入れ（壁付水栓の場合）…………………

ストレーナーの掃除

長期間使用していると、シャワーや吐水口からの水量が減っていくことがあります。
原因としてストレーナーの目詰まりが考えられます。
以下の要領でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては2年に1回程度です。）
※ツーハンドル水栓は掃除することはできません。お求めの販売店営業所またはお客さま相談室にご連絡ください。

例）ルーティア水栓の場合

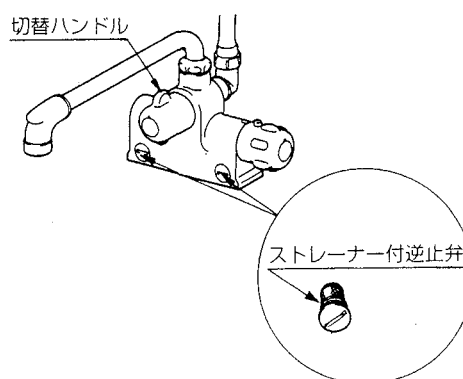
①流量調節栓を右（時計回り）にいっぱいに回して、閉めます。
※このとき、どのくらい回したかをメモしてください。
ストレーナー掃除後、元の水量に戻すためです。

②切替ハンドルを吐水口側、開閉ハンドルを開いて金具内の水を流します。

③大型マイナスドライバーを使用して、ストレーナーを取り外します。
※ストレーナーは湯側と水側両方に付いています。

④ストレーナーのゴミ等を水で洗い流します。
⑤取付けは逆の手順で行い、流量調節栓を元の位置に戻します。

■ストレーナーのお手入れ

ストレーナーの掃除

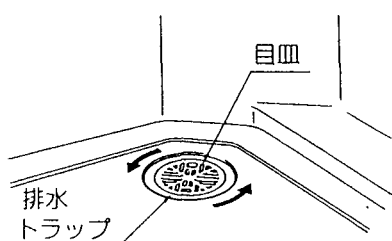
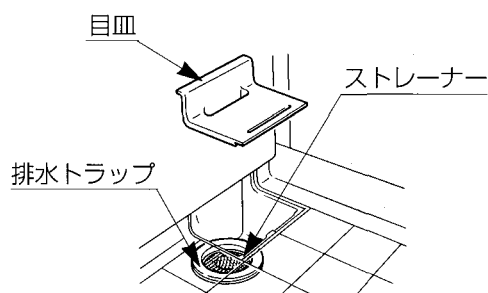
長期間使用していると、シャワーや吐水口からの水量が減っていくことがあります。
原因としてストレーナーの目詰まりが考えられます。
以下の要領でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては2年に1回程度です。）
※ツーハンドル水栓やデッキ水栓（カウンターから直接ハンドルや吐水口が出ているタイプ）は掃除することはできません。お求めの販売店営業所お客様相談室にご連絡ください。

ストレーナーが詰まると吐出量が少なくなったり、温度調節がうまくいかなくなるなど十分な機能を発揮しなくなりますので、ときどき、次の要領で掃除してください。

1. 切替ハンドルのレバーを真上に向けて、止水する。
2. 本体前面にあるストレーナー付逆止弁（2ヶ）を大形のマイナスドライバーで外す。
3. ストレーナーに付いているゴミを水で洗い流す。
4. ストレーナー付逆止弁を取り付ける。

■排水トラップ・浴槽排水口のお手入れ……………………

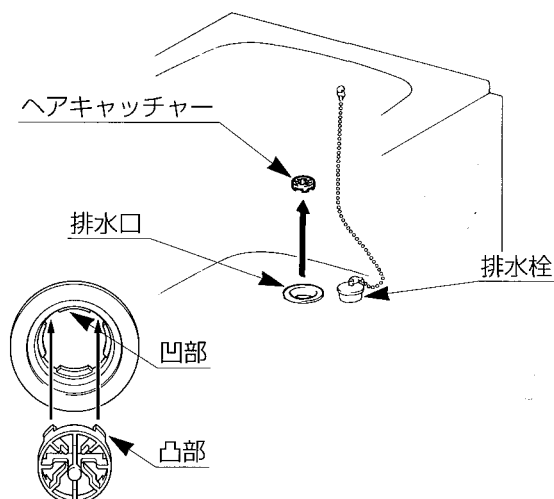
床排水トラップのお手入れ（BP, BH, BLP, BLHシリーズの場合）

目皿・ストレーナーを取り外し、目皿・ストレーナーや排水トラップ周辺のゴミを取り除いてください。

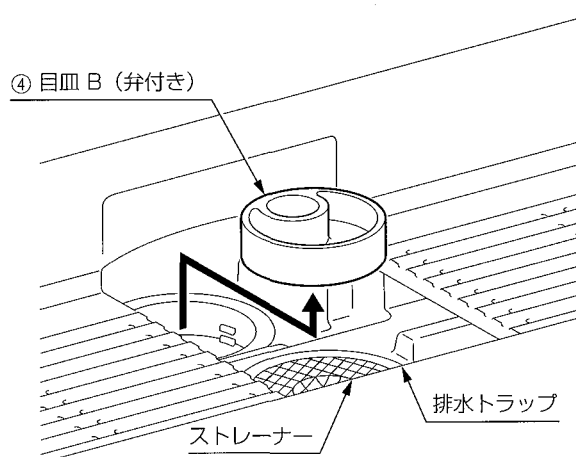
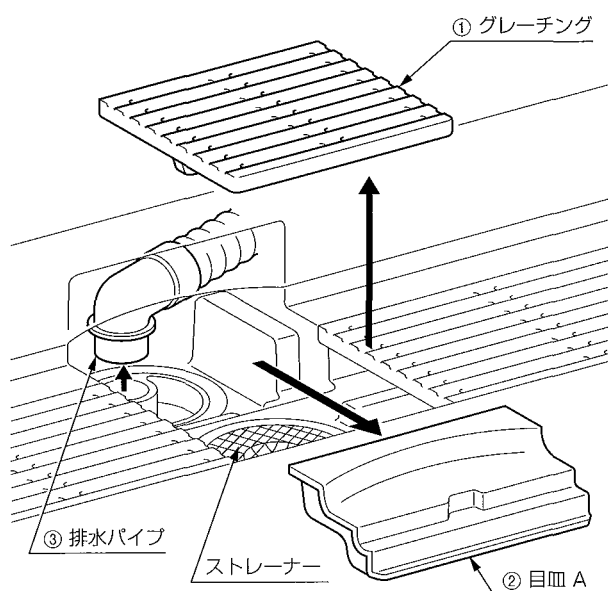
※ゴミ等は週に1度は取り除いてください。
　取り除いたゴミ等は直接流さないでください。排水管の詰まりの原因となります。

浴槽排水口のお手入れ

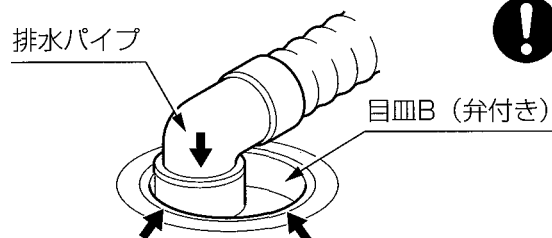
浴槽排水口内のゴミを取り除いてください。

※排水口内のゴミ等は週に1度は取り除いてください。
　取り除いたゴミ等は直接流さないでください。排水管の詰まりの原因となります。

※ヘアキャッチャーを排水口に取り付ける時は、ヘアキャッチャーの4つの凸部を排水口の凹部に合わせてパチンと音がするまできちんと押込んでください。きちんと取り付けないと浴槽の湯張りが十分にできなくなります。

■床排水トラップのお手入れ

床排水口のお手入れ（BYシリーズの場合）

①中央のグレーチングを取り外します。
②目皿Aを取り外します。
③排水パイプを取り外します。
④目皿Bを取り外します。（目皿Bには排水の逆流を防止するための弁がついています。）
⑤目皿・ストレーナーや排水トラップ周辺のゴミを取り除いてください。
⑥お手入れの後は、取外しと逆の手順で取り付けます。
※ゴミ等は週に1度は取り除いてください。
　取り除いたゴミ等は直接流さないでください。排水管詰まりの原因となります。

⚠ 注意

お手入れの後は、目皿Bと排水パイプを確実に差し込んでください。
※浴室から水があふれるおそれがあります。

■照明用電球の交換

電源スイッチを入れても照明がつかない場合は電球が切れていることが考えられます。電源スイッチを切って、次の要領で交換してください。
交換しても照明がつかない場合は、お求めの販売店へご連絡ください。

⚠ 警告

照明スイッチ（配電盤スイッチ）は必ず切った上で作業してください。
※**感電やショートするおそれ**があります。

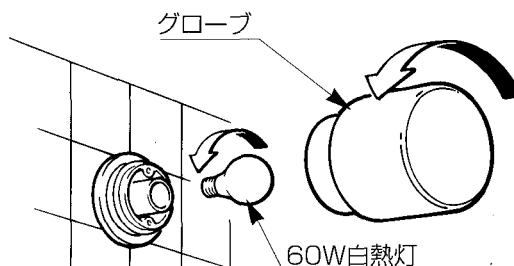
ぬれた手で交換作業をしないでください。
※**感電やケガをするおそれ**があります。

⚠ 注意

蛍光灯や電球はセットされているワット数のものと同じものをご使用ください。
※**故障の原因**となります。

電球が切れてもすぐに交換しないでください。
※電球が熱くなっており、**ヤケドをするおそれ**があります。

白熱灯の交換

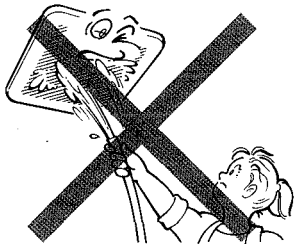
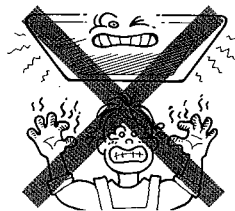
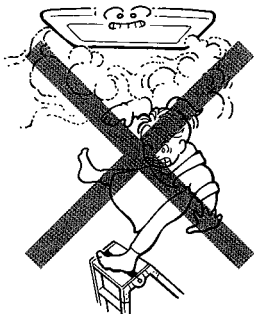
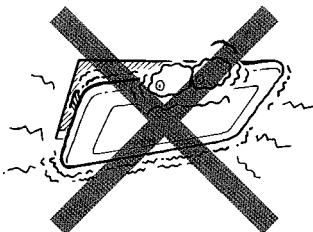
①照明スイッチを切ります。
②円筒形または角形のグローブを左に回して取り外します。
③電球を取り外し、新しいもの（60W白熱灯）に交換します。
④グローブを右に回してしっかりと取り付けます。
⑤照明スイッチを入れて点灯することを確認します。

■換気扇・換気乾燥機・浴室暖房機・換気乾燥暖房システムのお手入れ…

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対にルーバー以外は分解したり修理・改造は行わないでください。
※**発火したり異常動作してケガをするおそれ**があります。

換気扇・換気乾燥機・浴室暖房機・換気乾燥暖房システムのお手入れは必ず電源を切ってから行ってください。
※**感電やケガをするおそれ**があります。

⚠ 注意

換気扇・換気乾燥機・浴室暖房機・換気乾燥暖房システムに水をかけないでください。
※**故障や漏電するおそれ**があります。

換気乾燥機・浴室暖房機・換気乾燥暖房システムの場合、運転停止後はすぐにヒーターなど本体にふれないでください。
※**ヤケドをするおそれ**があります。

高い所での作業になります。ほこりの落下と足場には十分にご注意ください。
※**ケガをするおそれ**があります。

ルーバーは確実に取り付けてください。
※落ちて**ケガをするおそれ**があります。

ゴム手袋を使ってお手入れしてください。
※**ケガをするおそれ**があります。

クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは塩酸などの薬品や漂白剤、カビ取り剤は使用しないでください。
※**故障やキズ、変色等の原因**になります。

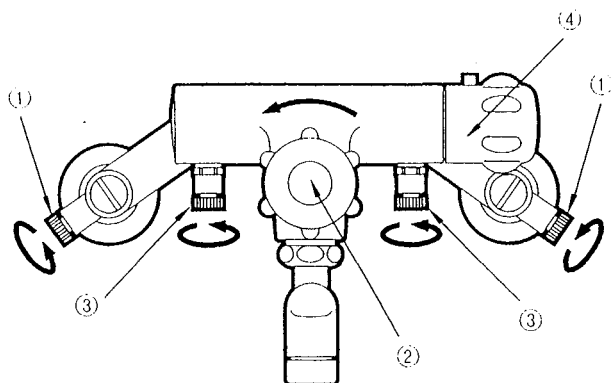
前記の警告や注意をふまえた上で、換気扇の取扱説明書に従って、お手入れをしてください。

冬期凍結のおそれがある場合

冬期凍結のおそれがある場合は、必ず浴槽内のお湯を排水してください。
また、寒冷地仕様の場合は、以下の手順で水栓の水抜きを行ってください。

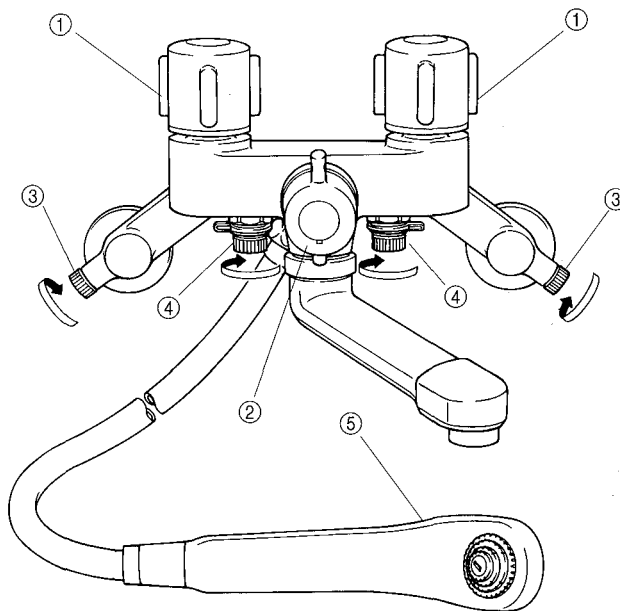
サーモスタット付水栓（浴槽側）

1. 取付脚の水抜き栓①（2個）を回して開けます。
2. 開閉ハンドル②を全開にします。
3. 本体の水抜き栓③（2個）を回して開けます。
4. 温度調節ハンドル④を数回「C」側から「H」側まで回します。

※再通水するときは、その前に必ず水抜き栓①③を閉めてください。

ツーハンドル水栓（シャワーバス）

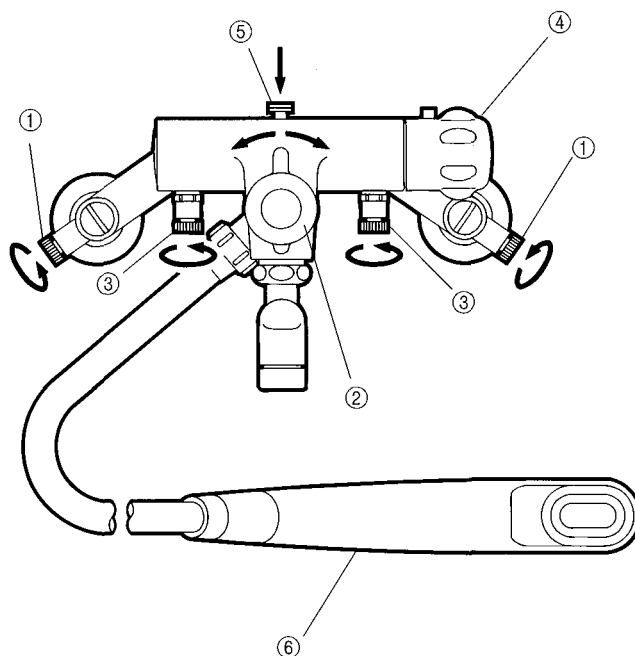
●プレッツォ

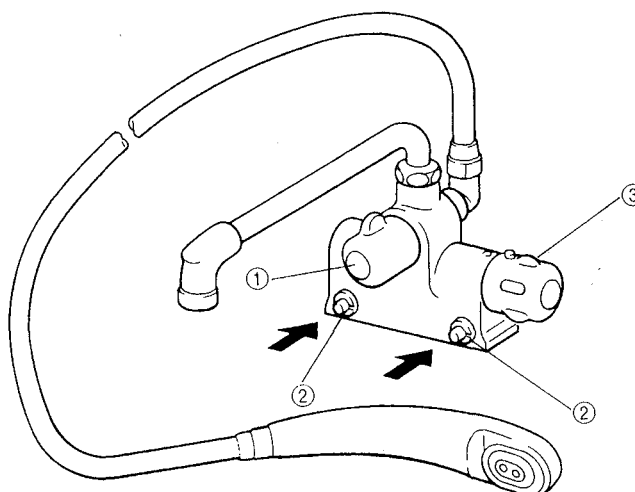
1. 湯側ハンドルと水側ハンドル①を開けます。
2. シャワー・吐水口切替ハンドル②を吐水口側（右）に回します。
3. 取付脚の水抜き栓③（2個）を回して開けます。
4. 本体の水抜き栓④（2個）を回して開けます。
5. シャワー・吐水口切替ハンドル②をシャワー側（左）に回します。
6. シャワーヘッド⑤を振って水をよく切り、床に置きます。

※再通水するときは、その前に必ず水抜き栓③④を閉めてください。

サーモスタット付水栓（洗い場側）

●壁付水栓の場合

1. 取付脚の水抜き栓①（2個）を回して開けます。
2. シャワー・吐水口切替ハンドル②を吐水口側（右）に回します。
3. 本体の水抜き栓③（2個）を回して開けます。
4. 温度調節ハンドル④を数回「C」側から「H」側まで回します。
5. シャワー・吐水口切替ハンドル②をシャワー側（左）に回します。
6. シャワーエルボの逆止弁開放ボタン⑤を押します。
7. シャワーヘッド⑥を振って水をよく切り、床に置きます。

※再通水するときは、その前に必ず水抜き栓①③を閉めてください。

●デッキタイプの場合

1. シャワー・バス切替ハンドル①を吐水口側に回す。
2. 本体の逆止弁開放ボタン②（2ケ）を押す。
3. 温度調節ハンドル③を数回「C」側から「H」側まで回す。
4. シャワー・バス切替ハンドル①をシャワー側に回す。
5. シャワーヘッドを振って水をよく切り床に置く。

故障かな？と思ったら

■修理を依頼する前に

故障かなと思ったら、修理を依頼する前に下記項目をご確認ください。
天井換気扇や換気乾燥機、浴室暖房機、アクアジェットなどについては各取扱説明書をご覧ください。

現象		原因	処置
シャワー・水栓	水の勢いが弱い。	ストレーナが目詰まりしている。	ストレーナの掃除をします。(33ページ)
		給湯の能力が不足している。	浴室以外でできるだけ同時に湯を使わないようにします。
	湯温が上がらないまたは変動する。	給湯器の設定温度が低い。	給湯器の設定温度を上げます。
		給湯器の適水量が少なくて点火しにくい。	給湯器の設定温度を下げ、適水量を多くする。(給湯器の取扱説明書をご覧ください)
		給湯の能力が不足している。	浴室以外でできるだけ湯を使わないようにします。
照明	照明が点灯しない。	ソケットにしっかりとはまっていない。(白熱灯の場合)	白熱灯をソケットに確実にはめます。(37ページ)
		白熱灯の寿命が切れている。	白熱灯を交換します。(37ページ)
排水口	流したお湯がなかなか排水されない。	排水トラップまたはストレーナーが目詰まりしている。	排水トラップまたはストレーナーの掃除をします。(36ページ)

■点検・修理について

より安全にご使用いただくために、次の場合は必ずお求めの販売店にご相談ください。

- "取扱説明書"どおりに使用されても、まだご不明な点があるとき

また、次の場合は直ちに使用を中止して、お求めの販売店にご相談ください。

- 浴室内で異常な音や振動を感じたとき
- 浴室内でこげ臭いにおいがしたとき
- その他異常を感じたとき

次のような場合は有料となりますが、定期的に点検を受けていただくことをお奨めします。

- ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買い上げより2年経過したもの
- 温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの

⚠ **警告**

当社指定の取扱店以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
発火したり、異常動作してケガをすることがあります。

■廃棄について

人造大理石浴槽、FRP浴槽を廃棄処分される場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。
詳しくは、お求めの販売店にご相談ください。

アフターサービスについて

保証と保証期間について

ユニットバスルームは、ご契約先への引渡し日より起算して、防水性能は5年間、防水性能以外については、2年間無償保証させていただきます。
ただし、下記事項によるものは保証いたしかねます。

①取扱説明書に従わない使用上の誤りによる損傷。
〔エセンヌ、NEWグラスティ以外の浴槽で浴槽浄化保温機（24時間バス）を使用された場合など〕
②建築躯体および関連設備工事に起因するもの。
③火災、地震、その他天災地変により生じたもの。
④据付後の改造、移動、その他変更により生じたもの。
⑤水栓の止水パッキン、照明電球等の消耗品。
⑥ユニットバスルーム専用部品以外の損傷。
⑦その他、製造・組立以外の損傷。

修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときはお買い求めの販売店に修理を依頼してください。

《連絡していただきたい内容》

- ●おなまえ・おところ・電話番号
- ●商品名・品番・取付年月日
- ●故障内容・故障の状況
- ●訪問ご希望日

※保証期間内は保証の規定に従って修理させていただきます。
※保証期間が過ぎているときは、修理によって機能が維持できる場合、お客さまのご要望により有料修理致します。補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6ヶ年です。
補修用性能部品とは、商品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービス等についてご不明な点がありましたら、販売店または当社支社、お客さま相談室等（連絡先は裏表紙に記載）へお問い合わせください。

株式会社 INAX

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは

（株）INAX「お客さま相談室」

☎ 0120-1794-00

受付時間　平日　　9：00〜19：00
土日・祝日10：00〜18：00（夏季、年末年始の休みは除く）

修理のご依頼は（本文の「アフターサービスについて」をお読みください）

お求めの販売店にご連絡ください。

取扱店

GPU-0069(99042)